

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR	科名	Ⅱ部ファッション流通1年	単位	6単位
科目コード	600110	科目名	ファッションビジネス概論Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 ファッションビジネスに関する基礎を学ぶことを目標とする。社会経済の変遷とファッションビジネスの関係・ファッション業界の構造と役割・各職種の役割・マーケティングや計数の基礎を演習課題を通して理解する。

コマ	内容	コマ	内容
1	オリエンテーション①	16	ファッション産業の構造⑥ 川上の役割 産地の理解
2	オリエンテーション② 導入① ファッションとは？	17	ファッション産業の構造⑦ 流通について
3	オリエンテーション③ 導入② ファッションビジネス、顧客満足とは？	18	FB能力検定試験対策① ファッションマーケティング
4	LifestyleとOccasion① ライフスタイルマップ作成	19	FB能力検定試験対策② 計数知識
5	LifestyleとOccasion② オケーションマップ作成	20	FB能力検定試験対策③ ファッション造形知識
6	LifestyleとOccasion③ プレゼンテーション	21	マーケットリサーチ① データ分析・整理
7	FBの変遷① 1950・1960年代の変遷	22	マーケットリサーチ② データのビジュアル化
8	FBの変遷② 1970～1980年代の変遷	23	マーケットリサーチ③ 伝わる資料作り
9	FBの変遷③ 1990～2000年代の変遷	24	マーケットリサーチ④ プレゼンテーション
10	FBの変遷④ 2010年代～現在の変遷	25	自由研究① 設定テーマに沿ったリサーチ
11	ファッション産業の構造① 川下の理解、小売業の役割	26	自由研究② リサーチ結果のまとめ
12	ファッション産業の構造② マーケットリサーチの重要性	27	自由研究③ リサーチ結果のまとめ
13	ファッション産業の構造③ RMDの流れ、仕入れ業務	28	自由研究④ プレゼンテーション
14	ファッション産業の構造④ プレゼンテーション	29	
15	ファッション産業の構造⑤ 川中の役割 AMDとは	30	

評価方法・対象・比重
 出席率10%、演習課題40%、ペーパーテスト50%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名 薫森三義

2017年度 カリキュラム科目概要

科コード` VR	科名 II部ファッション流通科	1年	単 位	2
科目コード` 504410	科目名 コンピュータスキル I		授業期間	半期

担当教員(代表) : 西村 元良	共同担当者 :
------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィック・ビジネスソフトを使う能力を身につけると同時に、ファッションビジネス、ファッション販売に必要となるパソコンの技術について学ぶ。各自のデザイン能力の向上を目指す。レベル設定:基本操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ドロー系ソフト/Illustrator の基礎とペイント系ソフト/Photoshop の基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPoint の基礎

<p>授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>テーマ:基本操作の技能習得</p> <p>授業は全て講義・実操作で行い、実習練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく</p> <p>フォトレタッチ系 CG (Photoshop/Adobe 社製)・5コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本操作、画像の加工方法及び、印刷物へ利用する為の画像の基本知識・操作を習得 画像選択 ②合成/加工/修正の方法と手順 ③スキャナーの利用 ④印刷 <p><課題> 自由テーマの合成画像作成</p> <p>Draw 系 CG (Illustrator/Adobe 社製)・5コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本操作、MAP や企画書を作成していく上で必要となる機能・操作を習得 ①ツールの切り換え・選択の方法 ②図形・線の描画 ③文字の入力 ④習得状況の確認ミニテスト 適材適所のソフトの利用と実践での理解度確認 マップ製作を通じて適切なソフト利用の確認を行う Illustrator と Photoshop・2ソフト間の連携利用、連携に必要な画像加工方法、画像の配置と利用印刷<総合演習課題>自分の好きなものを紹介するA3サイズ・マップ製作 <p>連携操作 (Photoshop/Illustrator)・2コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷物に利用するための画像加工方法 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明 <p>コマ数:2コマ</p> <p>使用ソフト名: Adobe 社 Illustrator/Photoshop Microsoft 社 Excel/PowerPoint</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>課題制作物、出欠日数で5(課題制作物):5(出欠日数)の比重で行う総合評価</p>

<p>主要教材図書</p> <p>事前に準備したレジメの配布資料</p>
<p>参考図書</p> <p>特にありません</p>
<p>その他資料</p> <p>筆記用具、USB2.0フラッシュメモリ 2.0 G以上(推奨)</p>

<p>記載者署名欄</p>

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科 名` II部ファッション流通科1年	単 位	3
科目コード` 606310	科目名` 接客対応スキル I	授業期間	4~7月

担当教員(代表) : 川井 佐江子	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売員として、基本的な立ち居振る舞いを身につける。 ・お客様視点での判断と行動ができ、販売の楽しさや難しさなど、講義と実習を通して学ぶ。

<p>1. オリエンテーション・コミュニケーションスキルの向上 販売員の必要性、重要性を考えるきっかけを与える 自己紹介・他者紹介をし、コミュニケーションの重要性を知る</p> <p>2. 店頭業務の理解 店頭における立ち居振る舞い、接客8大用語、おたたみ等、店頭業務の基礎を知る</p> <p>3. 接客対応 ファーストアプローチ～お聞きだし&受け止め～クロージングをロープレイングにより体得 ラッピング（百貨店包み、リボン結び、ネクタイの結び方）習得 店頭におけるシューフィッターの基礎知識の講義</p> <p>4. ビジネスマナー 店頭における電話対応、名刺交換、敬語の習得</p> <p>5. サービスチェック 店頭の現状を把握し、自身の対応に繋げるべく、全3回に分けたサービスチェックを行う</p>

<p>評価方法・対象・比重 プレゼンテーション・レポート・出席状況・授業に対する参加度による総合評価</p>

<p>主要教材図書</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者氏名 川井佐江子</p>

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科名` II部ファッション流通科1年	単 位	2単位
科目コード` 100610	科目名` アパレル商品概論 I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 久保田 智美	共同担当者 :
-------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 講義・実習を通し、接客をはじめアパレル業界で最低限必要な商品知識を習得、向上させせる

商品知識の習得……………(講義・実習)

1、ディテールデザイン……………(講義)
 衿、衿ぐり、袖、ポケット等の基本型の名称と特徴を知る。

2、アイテム別商品知識……………(講義・実習)
 商品を扱うのに必要な基礎アイテムのデザイン、名称、特徴、素材他を総合的に理解させる。また、
 学習した各アイテム別に今シーズンの写真を元にアイテム解説、コーディネート解説をすることにより接客時の
 表現力、トレンドの情報収集力を身につける。

① シャツブラウス
 ② パンツ
 ③ スカート
 ④ ワンピース

評価方法・対象・比重
 商品知識 (デザイン、特徴、素材、構造など) について授業内容を理解できているか、筆記試験を行なう。
 (前期、後期の平均点と出欠・授業態度)

主要教材図書
 ファッション流通講座⑤コーディネートテクニック アパレル編 I

参考図書
 ファッションビジネス用語辞典 (文化学園 教科書出版)
 新ファッションビジネス基礎用語辞典 (光琳社出版)

その他資料
 アイテム別講義記入プリント

記載者氏名 久保田 智美

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科名` II部 ファッション流通科1年	単 位	2単位
科目コード` 701010	科目名` コーディネートI	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 野口 恭子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションコーディネートに必要な基本知識と技術を習得することを目標とする。
 ファッションイメージ・アクセサリ・カラーなどに視点を置き、それぞれのコーディネートテクニックの講義・スタイリング実習から撮影までを行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ファッションコーディネートの基本について	16	
2	カラーに視点を置いたコーディネート	17	
3	ファッションイメージに視点を置いたコーディネート①	18	
4	ファッションイメージに視点を置いたコーディネート②	19	
5	アクセサリに視点を置いたコーディネート	20	
6	グループごとに撮影実習	21	
7	最終課題まとめ実習・提出	22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 課題・試験・出欠席

主要教材図書
 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編

参考図書

その他資料

記載者氏名 野口 恭子

科コード： VR	科名： ファッション流通科 1年 II部	単 位	1
科目コード： 502610	科目名： ファッションカラー I	授業期間	後期のみ

担当教員(代表)： 桑野恵美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に行いながら習得する。</p> <p>ファッション色彩能力検定3級に対応。</p>

1. 導入 色について		
2. 色の三属性	色の三属性（色相・明度・彩度） 等色相面／色立体 Hue & Tone システム	〈講義および演習 2 コマ〉
3. 配色の基礎	色相を基準とした配色 トーンを基準とした配色	〈講義および演習 2 コマ〉
4. ファッションカラーコーディネーション	グラデーション配色 マルチカラー配色・コントラスト配色 セパレーションカラー、アクセントカラー	〈講義および演習 4 コマ〉
5. 色彩構成の基礎	シンメトリー／アシンメトリー レピテーション／グラデーション	〈講義および演習 2 コマ〉
6. パーソナルカラー	似合う色の使い方 デモンストレーション	〈講義および演習 2 コマ〉
7. 色彩の理論（テキスト『ファッション色彩1』に沿った、ファッション色彩能力検定試験3級に対応する学習）	1章「概論－色彩のはたらき」／2章「色彩の体系」／3章「色彩理論－基礎」 4章「色彩の技術」／5章「ファッション産業と色彩」	〈講義 2 コマ〉
その他：演習に該当する家庭実習有り。		

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>提出物の評価を総合的に評価し、出席など授業態度を加味して最終評価とする。</p>

<p>主要教材図書 『ファッション色彩 I』 『ファッション色彩能力検定試験 3 級問題集』（文化出版局）</p>

<p>参考図書</p>

<p>その他資料 ベーシックカラー140B5 版、カラーチャート</p>

<p>記載者書名欄 桑野 恵美</p>

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科名` II部ファッション流通科1年	単 位	1
科目コード` 200300	科目名` アパレル素材論	授業期間	半期組交代

担当教員(代表): 野口 美千代	共同担当者
------------------	-------

教育目標・レベル設定など
 アパレル製品の主な素材である布地とそれらを構成する繊維、糸、またそれらの整理、仕上げ、染色加工等に関する基礎知識について「講義」「実験」「実習」を通して学習する。さらに、テキスタイル及びアパレル業界のつながりや現状とも関連付けられるようにする。

1. 概論（講義及び実習）1コマ
 アパレルとは、アパレルの素材、アパレル・テキスタイル産業
 「実習」服装調査
2. 繊維（講義及び実験・演習）7コマ
 繊維とは何か、繊維の分類
 繊維の各論 天然繊維（綿・麻・毛・絹 他） 化学繊維（再生・半合成・合成 他）
 それぞれの歴史、種類、形態、特徴、加工、用途 等
 「実習」精練漂白の効果 繊維の鑑別 布地調べ
3. 糸（講義及び演習）2コマ
 糸の構成・構造（紡績糸・フィラメント糸・糸の撚り・糸の太さ）
 糸の種類（素材別・形態別）
 「実習」糸の分類、糸の構成分解、糸の太さ
4. 布地（講義及び演習）3コマ
 布地の種類、選択
 織物 織物の種類（組織・構造・特徴・用途 等）三原組織・重ね組織・パイル組織・紋組織 他
 「実習」織物の組織図、織物の分類
 ニット ニットの種類（組織・構造・特徴・用途 等）たて編み・よこ編み
5. その他の素材（講義）1コマ
 加工布・その他

評価方法・対象・比重
 小テスト、課題、授業姿勢、出席状況の総合評価

主要教材図書
 文化ファッション体系服飾関連専門講座① 「アパレル素材論」 文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック アパレル素材論Ⅰ」文化服装学院教科書部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者書名欄 野口美千代

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VF	科名` II部 流通科	1年	単 位	1
科目コード` 400100	科目名` アパレル品質論		授業期間	前期

担当教員(代表) : 吉村 とも子	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル製品の企画、設計、生産、流通における品質管理の知識を習得させるために以下の①～③について講義、演習、実習を通して理解させる。</p> <p>①素材の特性を把握する為の物性試験や製品の實用性能を管理するための各種試験方法、評価法、基準値</p> <p>②アパレル製品の取り扱い</p> <p>③アパレル製品に関する法規制（表示関連、安全性関連）や規格</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p>	
<p>1. アパレルと品質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アパレルに求められる品質 ・ アパレルの製造工程管理 	<p>講義 1コマ</p>
<p>2. アパレル製品の品質表示と法規制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務表示 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程 雑貨工業品表示規程 ・ 関連する法規制 不当景品類及び不当表示防止法 安全性に関わる法規制 製造物責任法 等 ・ 任意表示 	<p>講義 2コマ</p>
<p>3. アパレル製品の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐洗濯性：家庭洗濯、商業洗濯 ウエットクリーニングとドライクリーニング など ・ 保管 ・ 染色堅牢性 ・ 形態安定性 ・ 耐薬品性（しみ抜き実験） 	<p>講義及び実習 3コマ</p>
<p>4. アパレル製品の保証とクレーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の保障とクレーム対策 ・ クレーム事例 	<p>講義 1コマ</p>
	<p>計：7コマ</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>レポート課題、出欠状況、試験を総合評価</p>

<p>主要教材図書</p> <p>教科書：ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局発行</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者書名欄</p> <p style="text-align: right;">吉村とも子</p>

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR	科名 II部ファッション流通科1年	単 位	3単位
科目コード 100310	科目名 アパレル商品構造論・演習 I	授業期間	前期

担当教員(代表) : 中野 麗子	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションビジネスにおいて生産・流通・販売されているアパレル商品の構造やパターン、生産の基礎について学ぶ。
 実際にシャツを製作することによって構造理解をする。さらにファッション誌やマーケットを調査し、トレンドの動向を探る。

コマ	内 容
1	オリエンテーション
2	裁断前準備・アイロンの使い方
3	裁断・芯貼り
4	ミシン・ロックミシンの使い方 1
5	ミシン・ロックミシンの使い方 2
6	前立て・裾アイロン
7	ヨーク縫い
8	衿作り 1
9	衿作り 2
10	衿付け
11	袖付け
12	ボタンホール (生産管理)
13	脇袖下縫い合わせ、裾、袖口
14	ボタン付け・仕上げアイロン
15	基礎知識とトレンド調査・研究レポート (夏休み)

評価方法・対象・比重 実物作品・出欠席・レポート

主要教材図書	文化ファッション大系ファッション流通講座⑥コーディネートテクニックアパレル編Ⅱ (商品構成)
参考図書	文化ファッション大系ファッション流通講座⑤コーディネートテクニックアパレル編Ⅰ (商品知識)
その他資料	実物参考標本、段階標本

記載者氏名	中野 麗子
-------	-------

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科名` II部ファッション流通1年	単 位	1単位
科目コード` 904200	科目名` ビジネススキル	授業期間	後期

担当教員(代表) : 薫森三義	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アパレル業界で働く上で必要となる一般常識やマナーを学ぶ。また具体的な就職活動方法を知るためにエントリーシートや面接対策を実施する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	就職活動の心構え	16	
2	自己分析を通して自分のPRポイントを考える	17	
3	なりたい自分、これからのキャリアプランを考える	18	
4	自己PRを履歴書やエントリーシートに落とし込む	19	
5	グループディスカッションを体験する	20	
6	就職に向けた心構えと面接練習	21	
7	テーマに合わせたグループワークを体験する	22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 出席率100%

主要教材図書 なし
 参考図書 なし
 その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科名` II部ファッション流通1年	単 位	1単位
科目コード` 980010	科目名` 特別講義 I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 薫森三義	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 現役のファッション業界人を講師として招き、ファッション業界の現状を知る。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ファッショントレンド情報①	16	
2	ファッショントレンド情報②	17	
3	ファッション販売の世界	18	
4	プレスの仕事	19	
5	就職活動のポイント	20	
6	社会人に必要なマナー ~面接対策~	21	
7	ファッションショー見学	22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 出席率100%

主要教材図書 なし
 参考図書 なし
 その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR	科名	Ⅱ部ファッション流通科1年	単位	1~2単位
科目コード	945101 945102	科目名	インターンシップ a (1W・2W)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 薫森三義	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 現場でのインターンシップを通して、業界の現状を知り、自身のスキルアップにつなげる

- ・ 自主参加によるインターンシップを実施する。
- ・ インターンシップ企業は自身で開拓、もしくはキャリア支援室に紹介された企業とする。
- ・ インターンシップであるため交通費や賃金は発生せず、無償での実習とする。
- ・ インターンシップ後にはレポートの提出が必要となる。
- ・ 実習時間によって付与される単位数が決定する。
 インターンシップa 1W : 1週間 (8時間×5日間=40時間) に相当する実習には1単位付与
 インターンシップa 2W : 2週間 (8時間×10日間=80時間) に相当する実習には2単位付与
- ・ 単位付与に必要なレポート内容や実習時間は I 部インターンシップと同様とする。

評価方法・対象・比重
 レポート提出100%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科 名` II部ファッション流通科2年	単 位	6 単位
科目コード` 600120	科目名` ファッションビジネス概論II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 澤谷 目童	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

II部ファッション流通科におけるメイン科目の2年次として、1年次のファッションビジネスに関する基礎をふまえたうえで、応用レベルを学ぶ。ファッションビジネスにおける特に流通販売に関する企画・提案についての演習課題から情報活用について学びながら、それらを個人の卒業制作に結実させる。

<p>・情報活用</p> <p>企画課題1 自己PR企画のための情報活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界における目標設定 ・自己分析～目標へ向けたPR企画 ・制作まとめ <p>企画課題2 ショップにおけるMD(仕入れ)企画のための情報活用</p> <p>チームによるショップの仕入れ企画提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム編成～ショップ検討 ・ショップリサーチとトレンド分析～品揃えと計数検討 ・プレゼンテーションと講評 <p>卒業研究創作 時代を意識したファッション流通に関わるビジネス企画提案のための情報活用</p> <p>テーマに基づく研究(調査・分析)と創作(企画提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマと企画提案検討 ・提案のための研究(調査・分析) ・研究を裏付けにした創作(企画提案) ・プレゼンテーションと講評(発表会形式)

評価方法・対象・比重 課題・出席率

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 澤谷 目童

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科名` II部ファッション流通2年	単 位	1単位
科目コード` 602100	科目名` ショップ計数	授業期間	前期

担当教員(代表) : 薫森三義	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

販売スタッフとして必要なショップ計数についての基本的知識の修得を目標とする。
コミュニケーションツールとなる計数用語の理解、計算演習を通して売場で必要な計数管理業務がスムーズにできるようになることを目指す。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	計数の持つ意味、売上高と掛率の関係、売場の理解	16	
2	売上高のもと、利益のもと、利益の構造	17	
3	仕入れと仕入条件、値入高(率)、粗利益高(率)、ロス高(率)	18	
4	在庫高と売上高の関係、損益分岐点	19	
5	日報、週報、月報、シーズン報告書へのまとめ方	20	
6	日割予算の立て方	21	
7	商品仕入れ予算とアイテム別予算の立て方、掛率と消化率	22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
ペーパーテスト50% 出席率50%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2017年度 カリキュラム科目概要

科コード` VR	科 名 II部ファッション流通科	2年	単 位	1
科目コード` 504420	科目名 コンピュータスキル II		授業期間	半期

担当教員(代表) : 西村 元良	共同担当者 :
------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィック・ビジネスソフトを使う能力を身につけると同時に、ファッションビジネス、ファッション販売に必要なパソコンの技術について他学科の課題制作が自由に行えるように内容を構成し、各自のデザイン能力の向上を目指す。レベル設定: 応用操作</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドロー系ソフト/Illustrator とペイント系ソフト/Photoshop の応用 • ビジネスソフト/Excel・PowerPoint

<p>授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>テーマ : 基本操作の技能習得</p> <p style="padding-left: 20px;">授業は全て講義・実操作で行い、実習練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく</p> <p>フォトレタッチ系 CG (Photoshop/Adobe 社製) Draw 系 CG (Illustrator/Adobe 社製) 7コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像選択 ②合成/加工/修正の方法と手順 ③スキャナーの利用 ④印刷 • <課題>ファッションマップや企画書を製作する上で必要な自由なレイアウト機能を利用する上での基本的な操作・パーツの作成方法を習得する。 印刷<総合演習課題>自分の好きなものを紹介するA3サイズ・マップ製作 <p>連携操作 (Excel/PowerPoint)</p> <ul style="list-style-type: none"> • プレゼンに利用するための画像加工編集方法 • 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明 <p>コマ数 : 7コマ</p> <p>使用ソフト名 : Adobe 社 Illustrator/Photoshop Microsoft 社 Excel/PowerPoint</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p style="padding-left: 20px;">課題制作物、出欠日数で5(課題制作物) : 5(出欠日数)の比重で行う総合評価</p>

主要教材図書	事前に準備したレジメの配布資料
参考図書	特にありません
その他資料	筆記用具、USB2.0フラッシュメモリ 2.0 G以上(推奨)

記載者署名欄

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科 名` Ⅱ部ファッション流通科2年	単 位	3
科目コード` 606320	科目名` 接客対応スキルⅡ	授業期間	9~1月

担当教員(代表) : 宮本 智幸	共同担当者 :
------------------	---------

<p>科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売員としての役割を理解し、マナー、基本知識と技術、コミュニケーション能力を磨く ・ディスプレイチェンジ、お直し対応、クレーム対応など、状況に応じて必要になる専門知識、技術を習得する ・顧客作りの意識を持った対応を意識付け、即戦力となる販売員育成を行う

<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・自己紹介 2. VMDの基礎知識・技術 3. 1年次復習(動的待機~アプローチ~セールストーク) 4. フィッティング (商品の見せ方、羽織らせ方、鏡の使い方、フィッティングルームへの誘導) 5. クロージング 6. 金銭授受(現金・カード) 7. お見送り 8. お直し対応(パンツ、ジャケット) 9. タイプ別・状況別対応 (お客様のタイプによるアプローチ、複数接客、スタッフ同士の連携) 10. クレーム対応 11. 顧客作り(顧客管理、再来店につなげるアプローチ) 12. 試験(ロールプレイング形式)

<p>評価方法・対象・比重 出席状況・授業に対する参加度・ロールプレイングによる実技試験による総合評価</p>

<p>主要教材図書</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者氏名 宮本 智幸</p>

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR	科名 II部ファッション流通科 2年	単位	2 単位
科目コード 100620	科目名 アパレル商品概論Ⅱ	授業期間	集中

担当教員(代表)： 山口 容子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 講義・実習を通し、接客をはじめアパレル業界で最低限必要な商品知識を習得、向上させる。

I. 商品知識の習得……………（講義・実習）

1、アイテム別商品知識……………（講義・実習）
 商品を扱うのに必要な基礎アイテムのデザイン、名称、特徴、素材他を総合的に理解させる。
 接客時のセールストークや表現力、また企画などにも応用のきく知識を身につける。

① ニットウエア
 ② デニムウエア
 ③ ワンピース
 ④ ジャケット
 ⑤ コート

2、フォーマルウエアの知識……………（講義）
 メンズ、レディースウエアのドレスコードとその着こなしを理解させる。

3、ファッション小物商品知識……………（講義）
 帽子、鞆、靴の基本デザイン、名称、特徴を学ぶ。

評価方法・対象・比重
 商品知識（デザイン、特徴、素材、構造など）について授業内容を理解できているか、アイテム毎に筆記試験を行なう。
 （試験評価と出欠・授業態度）

主要教材図書
 ファッション流通講座⑤コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ

参考図書
 ファッションビジネス用語辞典（文化学園 教科書出版）
 新ファッションビジネス基礎用語辞典（光琳社出版）

その他資料
 アイテム別講義記入プリント

記載者氏名 山口 容子

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科 名` II部 ファッション流通科 2年	単 位`	2単位
科目コード` 701020	科目名` コーディネートII	授業期間`	(通年)

担当教員(代表) : 野口 恭子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションコーディネートに必要な基本知識と技術を習得することを目標とする。
 体型をカバーするためのコーディネート、部分的な体型カバーに関するコーディネートに視点を置き、それぞれのコーディネートテクニックの講義・スタイリング実習を行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	アクセサリによる体型カバーについて(ネックレス) 体型カバーに視点を置いたコーディネート	16	
2	部分的な体型カバーに関するコーディネート	17	
3	体型カバーに視点を置いたコーディネート・撮影実習	18	
4	体型カバーに視点を置いたコーディネート・MAP制作実習	19	
5	今までの授業内容を踏まえたスタイリング・撮影実習	20	
6	今までの授業内容を踏まえたスタイリング・MAP制作実習	21	
7	今までの授業内容を踏まえたスタイリング・MAP提出	22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 課題・試験・出欠席

主要教材図書
 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編
 参考図書
 その他資料

記載者氏名 野口 恭子

科コード： VR	科名：ファッション流通科 2年 II部	単 位	1
科目コード： 502620	科目名：ファッションカラーII	授業期間	後期のみ

担当教員(代表)： 桑野 恵美	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッション業界における色彩実務について具体的に理解し、色彩の専門的な知識を応用、活用する方法を学ぶ。</p> <p>ファッション色彩能力検定2級に対応。</p>

1. 色彩理論 (光・視覚・心理)	光と色/色覚のしくみ/色彩心理 (視認性、誘目性、色のイメージ) 〈講義および演習 2 コマ〉
2. 色彩体系 (色名とカラーシステム)	色名/三属性による色の表示/色見本とカラーコード 〈講義および演習 2 コマ〉
3. 配色と色彩調和	流行配色 (コンプレックス、トーンオントーン、カマイユ/フォカマイユ、トーンイントーン、トータル、ピコ・トリコロール) 調和の技術 (ドミナント、コントラスト、ナチュラルシーケンス) 色彩調和論 (ゲーテ、シュヴルール、マンセル、オストワルト、イッテン、ムーン&スペンサー、ジャッド) 〈講義および演習 6 コマ〉
4. ファッション産業における色彩計画	情報としての色彩 (商品企画における色彩計画、ファッションイメージと色、移調) / 生産段階における色彩計画 (色彩管理) / 販売における色彩計画 (VMD、パーソナルカラー) 〈講義および演習 4 コマ〉
その他：演習に該当する家庭実習有り。	

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>提出物・出席を総合的に評価し、授業態度を加味して最終評価とする。</p>

<p>主要教材図書 『ファッション色彩II』 『ファッション色彩能力検定試験2級問題集』(文化出版局)</p>

参考図書

<p>その他資料 ベーシックカラー140B5 版、カラーチャート (1年次使用)</p>

<p>記載者書名欄 桑野恵美</p>

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF	科名 II部ファッション流通科2年	単位	3
科目コード 100320	科目名 アパレル商品構造論・演習II	授業期間	集中

担当教員(代表)：平松 正美	共同担当者：
----------------	--------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

I.

ファッションビジネスにおいて生産・流通・販売されているアパレル商品の構造やパターン、生産の基礎について学ぶ。

実際のパンツなどを製作することによって構造やパターン、生産について理解する。

製作したアイテムは、スタイリングを学ぶためのテーマを決めコーディネートをして発表する。

II. ボトムス制作

1. 制作条件

各自の力量に合わせたスカートまたはパンツ

作図説明 フレアスカート、サーキュラー

ストレートパンツ、ワイドパンツ

2. 作図実習及びパターンメイキング

4. 素材別裁断、印つけ

5. 仮縫い合わせ

6. 試着補正

7. アンダードレス、パニエについて

8. 本縫い

- ・素材別扱いポイント

- ・衿なし、袖なしの見返しつけ

- ・コンシールファスナー

- ・裾の始末

III. レポート コーディネーション絵型

IV. 発表会 各自トータルコーディネート発表

評価方法・対象・比重

作品、レポート、コーディネート 出欠席

主要教材図書 商品構成、商品知識、参考標本、部分標本、プリント

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 平松 正美

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR	科名 II部ファッション流通科2年	単位	1単位
科目コード 902300	科目名 ファッション史	授業期間	7回 ()

担当教員(代表) : 朝日 真	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 近代以降を中心に、近代から現代までを時代背景、美術等にふれながら服飾の流れについて学ぶ。また現代以降は各時代のデザイン様式、映画、写真などの変遷にも触れ、なおいっそうのファッションへの理解を深める。

コマ	内容	コマ	内容
1	近代までの服飾、19世紀から20世紀へ	16	
2	1900~1930年代のファッション	17	
3	1940~1950年代のファッション	18	
4	1960年代のファッション	19	
5	1970年代のファッション	20	
6	1980年代のファッション	21	
7	1990年代のファッション	22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 授業中に研究レポート提出、出欠重視

主要教材図書 文化ファッション大系「西洋服装史」
参考図書
その他資料

記載者氏名 朝日 真

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科 名 II部ファッション流通科2年	単 位	1単位
科目コード` 980020	科目名 特別講義II	授業期間	()

担当教員(代表) : 澤谷 目童	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションビジネスおよびファッション販売に関連した卒業制作につながる最先端の業界のリアルを講義や演習によって学ぶ。

- ・デジタルファッション
- ・リクチュールファッション
- ・ストリートスナップサイト運営
- ・スタイリストの世界
- ・PRとプレスの仕事
- ・ファッション雑誌の編集

評価方法・対象・比重
 出席率

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

記載者氏名 澤谷 目童

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科 名 II部ファッション流通科2年	単 位	1～2単位
科目コード` 945201 945202	科目名 インターンシップb 1W・2W	授業期間	通年

担当教員(代表) : 澤谷 目童	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションビジネスやファッション流通に関連、卒業制作に連動したインターンシップ研修。

- ・研修の開拓

- ・研修の準備

- ・研修の実施・経過報告

- ・結果報告とまとめ、発表

評価方法・対象・比重
 出席率

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 澤谷 目童

2017年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR	科 名` II部ファッション流通科2年	単 位	2単位
科目コード` 970100	科目名` 卒業制作	授業期間	()

担当教員(代表) : 澤谷 目童	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 2年間の集大成とするファッションビジネスおよびファッション販売に関連した企画提案のテーマ設定から研究と創作。
 ファッションビジネス概論IIの授業と連動しながら学習する。

時代を意識したファッション流通に関わるビジネス企画提案のための情報活用

テーマに基づく研究(調査・分析)と創作(企画提案)

- ・テーマと企画提案検討
- ・提案のための研究(調査・分析)
- ・研究を裏付けにした創作(企画提案)
- ・プレゼンテーションと講評(発表会形式)

評価方法・対象・比重
 出席率・課題

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 澤谷 目童